

平成 23 年 3 月

硬い音吹く東風といふからに
心音を聴く啓蟄の聴診器
獣はまだ深眠り春の山
軽佻浮薄の色を選んで春の服
目に留まる速さ初蝶の飛びたつは
コップの氷コップの水と成り果てる
木(き)の芽とは木(こ)の芽の一種混ぜご飯
お化粧のやうにはあらず目貼剥ぐ
野兎のもの残雪の足型は
目つき鋭し五人官女の一人だけ
足偏に沓の字を書き青き踏む
カニの影両手でつくり冬日向
馬肥牛も食べれば乳を出す
東風吹かば時計も音を刻むなり
忘れ物の代表選手春ショール